

円滑なインターネット利用環境の確保に関する検討会（第1回）

＜佐々木座長 提出資料＞

- サイバー攻撃はますます厳しく、巧妙化してだけでなく、従来の機密性の喪失だけでなく、ランサムウェアなどによる完全性の喪失や、DDoS 攻撃による可用性の喪失をもたらす攻撃が問題になってくることが予想される。また、攻撃対象も IoT を含むものとなっていき、従来の対策とは異なるものが必要になっていく。
- これらの対策は、ユーザやベンダーでの対策だけでなく、通信事業者や政府における対策も必要となり、トータルとして最適な対策をもたらすための評価技術が必要となる。
- また、そこでは、DDoS 対策で必要となるように、不正なパケットを他人のために自分のネットワークから出さないとの行動が、評価され本人に利益が返っていく仕組みの政府としての構築なども必要となると考えられる。
- 通信事業者としては経路ハイジャック対策が確実にできるようにするとともに収束までの時間の短縮を可能とする技術や仕組みが必要となる。